

1. めざす学校像

<p>四天王寺の創建者聖徳太子の仏教精神に基づき、全人教育による、教養と豊かな宗教的情操を備え、調和のとれた将来有為な人物を育成する高等普通教育を行なうことを目的とする。</p> <p>目標 1. 豊かな情操を備えた人間の育成。 2. 学習意欲の高揚と学力の向上。 3. 夢・希望を叶える進路指導。 4. 基本的生活習慣の確立。 5. ルールの順守と規範意識の高揚。</p>

2. 中期的目標

<p>1. 夢・希望を叶える進路指導。 (1) 学習不十分な生徒について学校全体で支援する体制が整える。 (2) 学習習慣の確立と家庭学習時間の確保に向けた取り組みを行う。</p> <p>2. 基本的生活習慣の確立。 (1) 挨拶を励行させる。 (2) 清掃活動の参加意欲の向上を図る。</p> <p>3. ルールの順守と規範意識の高揚。 (1) 公共のルールマナーを順守させる。 (2) 服装、頭髪を規定どおり守らせる。</p>

【自己評価アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの評価】

*自己評価アンケートの結果と分析 (平成28年12月実施)							
結果	パーセント	(資料①②参照)					
番号	設 問	A	B	C	D	番号	
目標1	1	校外活動(修学旅行・校外学習等)が適切に計画・実施されている	79	21	0	0	1
	2	生徒会活動が活発に行われている	69	31	0	0	2
	3	部活動が活発に行われている	24	69	7	0	3
	4	人権教育が適切に計画・実施されている	72	28	0	0	4
	5	いじめに対する基本方針に沿い、その取り組みが適切に実施されている	79	21	0	0	5
	6	仏教教育・仏教行事が適切に計画・実施されている	59	38	3	0	6
目標2	7	教育課程は学習指導要領に沿い、かつ生徒や学校の実態等を踏まえたものになっている	66	34	0	0	7
	8	効果的で円滑な学習活動を進めるために適切な時間割を編成している	62	34	3	0	8
	9	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている	69	31	0	0	9
	10	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫改善を行っている	45	55	0	0	10
	11	公開授業や研究授業など指導の内容・方法の工夫改善に向けた取り組みが、学校全体で行われている	76	24	0	0	11
	12	教科内で、授業内容の改善・向上に向けた話し合いを積極的に行っている	62	34	3	0	12
	13	学習不十分な生徒について学校全体で支援する体制が整っている	21	79	0	0	13
	14	学習習慣の確立と家庭学習時間の確保に向けた取り組みを行っている	41	52	7	0	14
	15	クラス編成や講習など進路実現に向けた学力向上策が充実している	48	52	0	0	15
目標3	16	生徒の進路決定に向けてアドバイスを適切に行うなど、生徒の適性や希望を生かすように行われている	66	34	0	0	16
	17	進路説明会は、適切に計画・実施されている	72	28	0	0	17
	18	学力補充や学力伸展のための補習が適切に計画・実施されている	62	38	0	0	18
	19	実力考査・外部模試等を進路指導に適切に活用している	59	41	0	0	19
目標4	20	遅刻・欠席を少なくさせている	52	41	7	0	20
	21	挨拶を励行させている	38	55	7	0	21
	22	環境美化に対する意識の向上を図っている	38	59	3	0	22
	23	清掃活動の参加意欲の向上を図っている	28	72	0	0	23
	24	保健室を適切に活用させている	62	38	0	0	24
	25	年間を通して生徒自らに健康観察や健康の保持増進できる能力を養わせている	45	55	0	0	25
目標5	26	校内外の指導等、問題行動を未然に防ぐ教育を適切に行っている	66	31	3	0	26
	27	公共のルールマナーを順守させている	38	59	3	0	27
	28	服装、頭髪を規定どおり守らせている	24	66	7	3	28
	29	交通安全教育は適切に計画・実施されている	62	38	0	0	29
学校運営	30	職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している	55	45	0	0	30
	31	教員間・教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている	55	38	7	0	31
	32	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある	59	41	0	0	32
	33	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている	48	52	0	0	33
	34	研修・研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある	52	48	0	0	34
	35	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている	45	55	0	0	35
	36	防災に対する意識の高揚を図っている	48	48	3	0	36

分析				
1 A評価とB評価による分析（肯定評価）（資料②-①参照） A評価とB評価のパーセントの合計は、平均で98.1%であり、昨年度よりも2.3%上昇している。ほとんどの項目で上昇が見られるが、特に項目3、13、14、20では大幅な改善という結果である。90%未満は項目28の89.7%のみとなり、重点目標に対する努力の成果といえる。				
2 ポイント（100点方式）による分析（A評価からD評価までの割合を100点で表したもの）（資料③-①参照） 80点未満をあげてみると、高校では項目3、28の2項目で、昨年度の10項目からかなり減少した。70点未満はなかったが、昨年度は2項目あった。全体の平均を見ると、昨年度よりも今年度の方が、3.7ポイント結果がよくなっている。				
3 過去の年度との比較 (1) A評価とB評価（資料②-②参照） 過去の年度と比較すると平均では今年度が上回っている。昨年度と比較では、プラス、マイナス5%以上で挙げてみると、項目3、13、14、16、20、22、23、25がよくなり、一方、5%以上悪くなった項目はなかった。評価としては今までで一番いい結果である。 (2) ポイント（100点方式）（資料③-②参照） 昨年度と比較すると、プラス、マイナス5ポイント以上で挙げてみると、項目3、11、12、13、14、20、22、25、29、31がよくなり、項目6のみが悪くなったという結果であり、全般的に改善傾向が強くなっている。 (3) まとめ（資料④参照） 上記の資料②-①・②と③-①・②を1枚にまとめ表にした。				
4 設問ごとの分析と具体的な改善方法				
	番号	分析	具体的な改善方法	番号
目標1	1	適切に計画・実施がなされている。	生徒や教員が減少しても、生徒の思い出として心に残るような校外活動を計画する。例えば、修学旅行では訪れる先々での体験学習を充実させるなど生徒が自ら行動を積極的に起こすよう工夫する。	1
	2	C、D評価が無く、Aも過半数割合で評価されており、適切に生徒会活動が行われている。	生徒数減少にともない今まで通りの生徒会活動は困難だが、校門での朝の挨拶運動など学校に集うみんながコミュニケーションを取り合うような活動にしたい。	2
	3	生徒数は少ないが、出来る限りの活動は行われている。	生徒数が増えるわけではないので、部の掛け持ちや部の数を減らすなども必要かもしれない。	3
	4	適切に計画・実施がなされている。	世の中の動向や新しい情報にも目を向け、適切に指導計画を立てる。	4
	5	適切に計画・実施がなされている。	校長の「いじめは許さない」という明確な姿勢が、本校の人権教育の土台となっており、今後もこの姿勢を継続する。	5
	6	適切に計画・実施がなされている。	今年度の取り組みを可能な範囲で次年度に踏襲する。	6
目標2	7	「教育課程」については、概ね「学習指導要領」に沿った生徒の実態等を踏まえたものという評価がなされている。	閉校まで教育課程そのものの変更の予定はないが、それに則った「授業」の中身の充実をさらに目指していく。	7
	8	「時間割」については、概ねA+B評価であり、特に問題はないという評価がなされている。	分割授業が多くなり時間割が組みにくくなったが、今後もミスに注意し、生徒中心の時間割を心掛ける。	8
	9	各教科別の「年間の教育計画」は概ね高評価で、適切に計画されているという評価がなされている。	現状での「年間計画」を各教科でさらに検討し、学習内容の定着を図る必要がある。	9
	10	「指導方法の工夫改善」については、A+B評価で100%であるものの、他の項目に比べB評価の割合が大きいという評価がなされている。	指導方法の工夫・改善について、生徒間の学力差が大きいという意見も踏まえ、教科内で生徒の実態に合わせたより効果的、効率的な指導方法を考える。	10
	11	「公開授業」や「研究授業」については、特に問題はないと思われる。	「公開授業・研究授業」について、教科内の話し合いを深め、さらに指導内容や指導方法の充実を図る。	11
	12	A+Bで95%以上であり、前年度に比べて向上している項目なので、特に問題はない。	教科会での話し合いが有意義なものになってきているので、さらに積極的に行っていく。	12
	13	A+Bで100%になり、昨年より大きく向上しているため、非常に良い。	項目14と密接に関連しているため、確認テストの不十分な生徒への指導、課題未提出生徒への指導を継続し、さらに徹底していく。	13
14	各学期のアンケートや週末課題、確認テストの実施により、昨年より大きく向上している。	引き続き、週末課題、確認テストの実施で、未消化のまま終わらせない教科指導の継続が必要である。また、担任による家庭学習時間の把握をしっかりとし、ホームルームや朝礼などで生徒への意識付けを常に行う。	14	
15	A+Bで100%であり、実際の取り組みをみても、講習などは積極的に行われている。	生徒の夢・希望の実現に向けて、今まで以上に全教員が協力して取り組んでいく。	15	
目標3	16	A+Bで100%であり、前年度比でも大きく向上している。	生徒との面談がよく行われ、コミュニケーションがとれている結果だと思われる。今後は保護者との疎通も十二分となり、生徒・保護者・学校が三位一体となり進路指導の充実を図る。	16
	17	A+Bで100%なので、適切に計画・実施されていると思われる。	現状の取り組みを継続しつつ、生徒や保護者にリアルタイムの進路情報を提供できるように心掛ける。	17
	18	A+Bで100%であり、必要に応じて補習が積極的に行われていると思われる。	教員が減り、個々の負担も大きくなるが、生徒の夢実現に向けて全教員が協力して取り組んでいく。	18
	19	A+Bで100%であり、昨年比で向上しているため、適切に活用されていると考えられる。	今後とも試験が終わった後の成績・資料を面談、懇談会、学年会議、教科会議に十分に活用し、進路指導に役立てていく。	19

目標4	20	生徒数が少なくなっているのに、データ（数字）だけで判断することは難しいかもしれないが、一部の生徒に遅刻・欠席が偏っている。	様々な事情を抱えている生徒が増えているので、まめに家庭連絡をとったり、面談をしたりなど、きめ細やかな指導が必要。	20
	21	数年前に比べれば、少しずつ良くなっている。	頭を下げての会釈は出来ている生徒は多いが、声に出して挨拶できる生徒は少ないように思うので、クラスでの朝・終礼等から呼びかけることは大切。	21
	22	A+Bが95%を超えており、ある程度以上の取り組み成果を上げているものと思われる。	A+Bの100%を目指し、朝・終礼や授業の始まり等、積極的、継続的に教員で声掛けをしていき、美意識を高めることが重要。	22
	23	A+Bで100%であり向上しているが、Bがまだその約6割を占めている。	校内放送による啓蒙活動、また土曜日に実施した美化委員による見回り活動を次年度も継続させていく。	23
	24	ほぼ適切に活用されているとの評価がなされている。	生徒の健康状態にさらに細やかに注意を払い、より安心・安全な保健室運営を心掛ける。また、各部署・各学年との連携も密に取る事が大切。	24
	25	保健会活動など、なるべく自主性を持たせた活動にするべく取り組んだが、もう少し活動の回数を増やせたら良かったのではないかと考える。	取り組みの目標設定を明らかにすることで、より具体的な活動につなげることが期待できる。例えば、月別の目標設定するために必ず集合させ話し合いをさせる。	25
目標5	26	適切に行われている。	今年度を踏襲し、次年度の取り組みに活かすよう心掛ける。また、生徒指導部長が職員朝礼、合同朝礼等で教員や生徒に啓発することは大切。	26
	27	年々評価が良くなっており、適切な指導が行われている。	今年度を踏襲し、さらに生徒の安全が図れるよう次年度の取り組みに活かす指導が大切。	27
	28	数年前に比べるとよくなっているものの、改善の余地はある。	冬服時、私服の着用について何らかの改善は必要かもしれない。また、教員が共通の認識で指導をすることも大切である。さらに、適宜生徒指導部長が職員朝礼、合同朝礼等で教員や生徒に注意・喚起を促すことは継続する。	28
	29	概ね適切に計画・実施されており、交通ルールの順守について生徒に浸透しつつある。	今年度よりもさらに生徒の安全が図れるよう取り組み。例えば、自転車のマナーは、交通安全講習を生徒全員で受講することを踏襲する。また、合同朝礼や職員朝礼時に、命の大切さや交通ルールの順守について校長や生徒指導部長から注意・喚起を促すことを継続する。	29
学校運営	30	概ね効率的に機能している。	職員会議をはじめ各種会議から得られた内容を共有し、適切に教育活動に反映させる。	30
	31	概ね信頼関係に基づいて教育活動が行われているが、少なからず改善の余地がある。	報告・連絡・相談を常に意識し、教員相互のコミュニケーションを積極的に図る。	31
	32	概ね達成できている。	教科の枠を超えた相互の授業参観回数を増やす、あるいは、公開授業の反省をきっちりとやり、生徒の理解を深める指導スキルの向上に努める。	32
	33	各学年、行事のたびにしっかりとWebページに写真やコメントをあげている。	Webページを見て、最近写真が規定よりも大きいものがあることが気になるが、今後も適宜適切にホームページで学校生活の様子をあげていく。	33
	34	概ね整いつつある。	研修で得た知識・情報を会議で発表するに止めず、資料回覧時に要点をまとめるなどの工夫を凝らす。	34
	35	校外研修の機会は着実に増え、その体制は整いつつある。	研修内容によっては、資料回覧に止めず、教員会議で発表の機会をもち、より教科指導や生徒指導に反映する。	35
	36	概ね適切に行われているといえる。	緊急地震速報への対応や避難訓練が年間指導計画に組み込まれており、それらにおいてはふざけたりする生徒も少なくなっている。しかし、「実際災害が起こった時にはより迅速な行動を」と消防署からも指摘されており、生徒・教員ともに留意する。	36

<p>*学校関係者評価委員会からの評価 (本年度の重点目標を2学期初めに報告し、3学期終わりに自己評価の結果を渡し、評価をしていただいた。)</p>	
目標1	・生徒数が少なくなり、部活動などなかなか出来にくいと思うが、先生方は生徒に心を砕いて下さっていると思う。
	・部活動は生徒数が少ない為、普段の練習が十分にできず試合出場も出来ないこともありかわいそうにも思う。
	・大変満足している。
	・修学旅行や校外学習など生徒が自主的に考えて行動ができるよう工夫されている。
	・部活動も活発に行われていて、校内外ともに充実している。
	・仏教教育や養育教育にもよく取り組んでいる。
	・学校全体が落ち着いている。
	・生徒数は減ってもいろいろな活動を通じて少しでも楽しい時間や思い出を作って欲しい。
目標2	・学校全体で学習に対する支援の体制がしっかりとあると思う。
	・家庭学習時間が少なく、もっと各教科宿題を増やしてほしい。
	・基本的には満足しているが、学力不足の生徒のためにも少し補習授業があればと思う。
	・参観等で日常の授業内容がわかるようになっている。
	・やる気のスイッチは人それぞれ違いはあると思うが、先生方のアドバイスやご指導によって大きく変わるかと思う。今後も自分の進路を見つめ直すきっかけを与えていただけたらと思う。
・生徒の学力向上に努めている。	
目標3	・進路に対して早くから、手厚く指導して下さっていることがよく理解できる。
	・進路についての面談は、いつでもやって下さる体制になっていて生徒も保護者も安心だ。
	・大変満足している。
	・生徒にはそれぞれの夢や希望がある。本人の強い意志を感じた時にはそれを生かす指導・アドバイスを願う。
	・外部模試の実施で実力がわかるので参考になる。
	・生徒には夢を持たせるご指導を願いたい。
・生徒の将来を見据えた進路指導、希望を持たせる指導を行っている。	
目標4	・生徒が学校外でも挨拶などきちんと出来ているのは先生方のご指導のおかげと思う。
	・挨拶は一部の生徒しかしない。
	・大変満足している。
	・遅刻・欠席をさせない指導がなされている。
	・学校全体がきれいに清掃されている。
目標5	・毎月頭髪検査などを実施し、生徒の身なり、服装について注意を払われていると思う。
	・頭髪は規定通り守られていない。
	・傘をさしての自転車運転が多い。交通安全教育には力を入れていただきたい。
	・大変満足している。
	・卒業した後もご指導願えたらありがたい。
	・きちんとした服装で登校していると思う。
学校運営	・ホームページでの情報など速やかに公開されていると思う。
	・ホームページでは学校の様子がよくわかり、生徒がキラキラしている。
	・基本的には満足している。
	・防災訓練や危機管理については考えるところがあると思う。例えば色々な犯罪に巻き込まれないよう今一度踏み込んだ指導をお願いしたい。
	・ホームページの更新を定期的にしてほしい。

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
1・夢・希望を叶える進路指導	<p>昨年度の「公開授業や研究授業など指導の内容・方法の工夫改善に向けた取り組みを、学校全体で行う。」については十分に成果があった。しかし、まだ不十分であった他の2点を継続して重点目標とする。</p> <p>(1)「学習不十分な生徒について学校全体で支援する体制を整える」</p> <p>(2)「学習習慣の確立と家庭学習時間の確保に向けた取り組みを行う」</p>	<p>(1) ア. 各コース小テスト(復習・課題について)を原則週1回は実施する。 イ. 各コース国・数・英を中心に計画的かつ継続的に課題を与え、提出を徹底させる。 *日々の宿題、課題を出すことで家庭学習を確保し、小テスト、課題で学習不十分な生徒に対しては、放課後の居残り学習を行わせる。</p> <p>(2) ア. 各クラスで学期に2回家庭学習状況アンケートを行い、家庭学習時間を把握する。 イ. 各担任が面談を通じて家庭学習の推奨を行う。 ウ. 教科担当者は宿題・課題を生徒に課す際、家庭で十分時間をかける必要のあるものとなるように配慮する。</p>	<p>(1) (2)ともに ・自己評価のパーセント。 (肯定評価90パーセント以上)</p> <p>・自己評価のポイント (100点方式で80点以上)</p>	<p>(1) ア、イの実施率は小テスト・課題の順に国100%・100%、社60%・80%、数50%・100%、理50%・100%、英100%・100%という結果であり、小テストは教科の特性もあるが、課題についてはほぼ100%に近い結果となった。また、重点目標に対する自己評価の設問13は、肯定評価100%となり、昨年度の90.9%よりもかなり改善した。100点方式の計算では、80.2ポイントで昨年度の75ポイントよりも改善でき、評価指標を上回ることができた。(○)</p> <p>(2) アの家庭学習時間のアンケート結果は、「増加した」が44%、「増減なし」が56%という結果であり、増加が半数を越えることはできなかった。イの家庭学習の推奨率は、「ほぼできた」が89%、「あまりできなかった」が11%であった。また、重点目標に対する自己評価の設問14については、肯定評価が93.1%で昨年度の78.8%よりもかなり上昇した。100点法では、81.9ポイントとなり、昨年度の68.9ポイントよりもかなり改善し、自己評価のパーセント、ポイント共に評価指標を達成することはできた。(△)</p> <p>* (2) のウについては (1) のイで提示。</p>
2・基本的生活習慣の確立	<p>昨年度の「挨拶を励行させる」は目標を達成しているため、前年度と比べ評価ポイントが下まわっている「清掃活動の参加意欲の向上を図っている」を今年度の重点目標とする。</p>	<p>ア. 清掃活動を奨励するポスターを掲示する。</p> <p>イ. 毎週月曜の清掃時に美化委員が1週間の清掃目標を放送する。</p> <p>ウ. 毎週土曜日に美化委員と教員による校内清掃点検を行う。(清掃チェック表を作成し、清掃担当ごとに提出)</p>	<p>・自己評価のパーセント。 (肯定評価90パーセント以上)</p> <p>・自己評価のポイント。 (100点方式で80点以上)</p> <p>・卒業生アンケートのポイント。 (昨年度の点数を上回る)</p>	<p>アについて、各学期ごとに美化目標をクラス掲示し、美化委員がポスター作製を行い、実際に校舎への掲示を行った。イについて、美化委員が週1回月曜日に昼の放送を通じ、美化意識向上のメッセージを全校生へ伝えた。ウについては、美化委員と美化委員会担当教員が各清掃場所での確認をチェック用紙を用い、毎週土曜日に確実に行った。</p> <p>重点目標に対する自己評価設問23に対しては、肯定評価が100%で、昨年度の93.9%から向上した。また、自己評価ポイントでは、81.9ポイントとなり、昨年度の78.0ポイントを上回った。卒業生アンケートでは、78.3ポイントであったが、今年度は83ポイントで向上が見られた。評価指標の3点の目標をすべて達成できた。(○)</p>
3・ルールの順守と規範意識の高揚	<p>昨年度は「服装、頭髪を規定どおり守らせる。」であった。改善はかなりされているが、他の項目と比べ、まだ評価ポイントが高くないので、本年度も「服装、頭髪を規定どおり守らせる。」を重点目標とする。</p>	<p>ア. 生徒登下校時、校門で当番やその他の教員が立ち、服装、頭髪をチェックする。</p> <p>イ. 毎月の一斉服装、頭髪検査での指導の強化。</p> <p>ウ. 生徒会からの教室掲示プリント等による啓蒙活動。</p> <p>エ. 各教員の生徒への注意の徹底。</p>	<p>・自己評価のパーセント。 (肯定評価80%以上)</p> <p>・自己評価のポイント。 (100点方式で70点以上)</p> <p>・卒業生アンケートのポイント。 (昨年度の点数を上回る)</p>	<p>ア、エについて、教員のチェック率は「ほぼできた」が93%、「あまりできなかった」が7%という結果であった。学年ごとの指導では、「ほぼできた」が1年100%、2年67%、3年100%であった。イについては、毎月最初に学年ごとの頭髪・服装検査を厳密に行い、生徒の意識を向上させることができた。ウについては、学期ごとに教室にプリントを掲示し、担任から注意を促した。</p> <p>重点目標の設問28では、自己評価は今年度89.7%で、昨年度87.9%よりもやや改善した。また、自己評価ポイントでは、今年度は75.0ポイントで、昨年度の73.5ポイントを若干上回った。評価指標の目標に対しては、自己評価パーセントはクリアし、100点方式のポイントでも目標を越える結果となった。さらに、卒業生アンケートでは、昨年度は87ポイントであったが、今年度は87.8ポイントとなり、評価指標を満たすことができた。(○)</p>

A評価＋B評価の推移 と 過去年度との比較

資料②

表①は

A＋B（％表示）

になります。

表②は

過去の年度 - 今年度

になります。

①

設問	H28年度	H27	H26	H25	H24
1	100.0	100.0	100.0	97.7	97.7
2	100.0	100.0	94.7	95.3	79.1
3	93.1	78.8	78.9	81.4	83.7
4	100.0	100.0	100.0	100.0	95.3
5	100.0	100.0	100.0		
6	96.6	100.0	97.4	97.7	93.0
7	100.0	100.0	100.0	97.7	93.0
8	96.6	97.0	100.0	95.3	95.3
9	100.0	100.0	100.0	97.7	97.7
10	100.0	100.0	94.7	93.0	97.7
11	100.0	97.0	100.0	97.7	93.0
12	96.6	93.9	86.8	88.4	88.4
13	100.0	90.9	84.2	83.7	79.1
14	93.1	78.8	92.1	88.4	74.4
15	100.0	100.0	100.0	93.0	93.0
16	100.0	93.9	100.0	95.3	95.3
17	100.0	100.0	100.0	100.0	95.3
18	100.0	97.0	94.7	95.3	90.7
19	100.0	97.0	97.4	93.0	90.7
20	93.1	78.8	84.2	90.7	72.1
21	93.1	90.9	89.5	90.7	76.7
22	96.6	90.9	92.1	90.7	88.4
23	100.0	93.9	97.4	93.0	88.4
24	100.0	100.0	100.0	100.0	97.7
25	100.0	93.9	100.0	100.0	90.7
26	96.6	97.0	94.7	93.0	83.7
27	96.6	93.9	81.6	86.0	81.4
28	89.7	87.9	68.4	67.4	41.9
29	100.0	97.0	94.7	93.0	90.7
30	100.0	100.0	100.0	100.0	97.7
31	93.1	93.9	92.1	93.0	90.7
32	100.0	100.0	100.0	95.3	97.7
33	100.0	100.0	100.0	95.3	100.0
34	100.0	100.0	97.4	100.0	95.3
35	100.0	100.0	100.0	97.7	97.7
36	96.6	97.0	97.4	90.7	93.0
37		100.0	100.0	100.0	100.0
38		100.0	100.0	97.7	100.0
39		97.0	100.0	93.0	88.4

平均	98.1	95.8	95.1	93.7	89.7
----	------	------	------	------	------

②

設問	H27－今	H26－今	H25－今	H24－今
1	0.0	0.0	-2.3	-2.3
2	0.0	-5.3	-4.7	-20.9
3	-14.3	-14.2	-11.7	-9.4
4	0.0	0.0	0.0	-4.7
5	0.0	0.0		
6	3.4	0.8	1.1	-3.5
7	0.0	0.0	-2.3	-7.0
8	0.4	3.4	-1.2	-1.2
9	0.0	0.0	-2.3	-2.3
10	0.0	-5.3	-7.0	-2.3
11	-3.0	0.0	-2.3	-7.0
12	-2.6	-9.7	-8.2	-8.2
13	-9.1	-15.8	-16.3	-20.9
14	-14.3	-1.0	-4.7	-18.7
15	0.0	0.0	-7.0	-7.0
16	-6.1	0.0	-4.7	-4.7
17	0.0	0.0	0.0	-4.7
18	-3.0	-5.3	-4.7	-9.3
19	-3.0	-2.6	-7.0	-9.3
20	-14.3	-8.9	-2.4	-21.0
21	-2.2	-3.6	-2.4	-16.4
22	-5.6	-4.4	-5.9	-8.2
23	-6.1	-2.6	-7.0	-11.6
24	0.0	0.0	0.0	-2.3
25	-6.1	0.0	0.0	-9.3
26	0.4	-1.8	-3.5	-12.8
27	-2.6	-15.0	-10.5	-15.2
28	-1.8	-21.2	-22.2	-47.8
29	-3.0	-5.3	-7.0	-9.3
30	0.0	0.0	0.0	-2.3
31	0.8	-1.0	-0.1	-2.4
32	0.0	0.0	-4.7	-2.3
33	0.0	0.0	-4.7	0.0
34	0.0	-2.6	0.0	-4.7
35	0.0	0.0	-2.3	-2.3
36	0.4	0.8	-5.9	-3.5
37				
38				
39				

平均	-2.5	-3.3	-4.7	-9.0
----	------	------	------	------

設問内容は別紙を参照してください。37～39は今年度実施していない設問になります。

100点方式による推移 と 過去年度との比較

資料③

表①は $\{(2A+B-C-2D)+200\}/4$ になります。

表②は 過去の年度 - 今年度 になります。

①

設問	H28年度	H27	H26	H25	H24
1	94.8	92.4	93.4	88.4	87.8
2	92.2	88.6	82.2	74.4	66.3
3	77.6	68.9	68.4	68.6	70.9
4	93.1	90.2	90.8	89.5	84.3
5	94.8	92.4	92.1		
6	87.9	93.2	89.5	89.5	82.6
7	91.4	88.6	88.2	82.6	82.6
8	88.8	87.1	87.5	82.0	82.6
9	92.2	87.9	88.8	87.8	87.2
10	86.2	82.6	81.6	82.6	83.1
11	94.0	86.4	86.2	84.3	81.4
12	88.8	82.6	77.0	76.2	76.2
13	80.2	75.0	69.1	67.4	66.9
14	81.9	68.9	73.7	70.9	64.5
15	87.1	84.1	84.9	79.1	80.2
16	91.4	89.4	89.5	84.3	84.3
17	93.1	94.7	92.1	91.3	87.2
18	90.5	87.1	84.2	84.9	79.1
19	89.7	87.9	86.2	81.4	80.8
20	84.5	75.0	75.0	78.5	66.9
21	81.0	78.0	77.0	77.3	68.6
22	82.8	76.5	79.6	75.6	77.3
23	81.9	78.0	78.9	74.4	74.4
24	90.5	86.4	84.9	83.7	81.4
25	86.2	78.0	80.9	80.2	75.0
26	89.7	86.4	83.6	76.7	75.0
27	82.8	80.3	69.1	69.8	69.8
28	75.0	73.5	59.2	58.7	43.6
29	90.5	83.3	82.2	80.2	80.8
30	88.8	84.1	84.9	84.3	82.6
31	85.3	77.3	78.3	78.5	76.7
32	89.7	86.4	86.8	80.8	83.1
33	87.1	86.4	84.9	81.4	86.0
34	87.9	84.1	85.5	86.6	85.5
35	86.2	85.6	85.5	81.4	82.6
36	85.3	81.1	82.2	75.6	78.5
37		88.6	87.5	87.8	89.0
38		88.6	86.2	84.3	86.6
39		83.3	81.6	76.7	75.6

平均	87.5	83.8	82.5	79.9	77.9
----	------	------	------	------	------

②

設問	H27-今	H26-今	H25-今	H24-今
1	-2.4	-1.4	-6.5	-7.0
2	-3.6	-10.0	-17.8	-26.0
3	-8.6	-9.2	-9.0	-6.7
4	-3.0	-2.3	-3.6	-8.8
5	-2.4	-2.7		
6	5.3	1.5	1.6	-5.4
7	-2.7	-3.2	-8.8	-8.8
8	-1.7	-1.3	-6.8	-6.2
9	-4.4	-3.4	-4.5	-5.0
10	-3.6	-4.6	-3.6	-3.1
11	-7.6	-7.8	-9.7	-12.6
12	-6.2	-11.8	-12.6	-12.6
13	-5.2	-11.1	-12.7	-13.3
14	-13.0	-8.2	-11.0	-17.4
15	-3.0	-2.2	-8.0	-6.8
16	-2.0	-1.9	-7.1	-7.1
17	1.6	-1.0	-1.8	-5.9
18	-3.4	-6.3	-5.6	-11.4
19	-1.8	-3.5	-8.3	-8.8
20	-9.5	-9.5	-6.0	-17.6
21	-3.0	-4.1	-3.7	-12.4
22	-6.2	-3.2	-7.2	-5.4
23	-3.9	-2.9	-7.5	-7.5
24	-4.2	-5.6	-6.8	-9.1
25	-8.2	-5.3	-6.0	-11.2
26	-3.3	-6.1	-12.9	-14.7
27	-2.5	-13.7	-13.0	-13.0
28	-1.5	-15.8	-16.3	-31.4
29	-7.2	-8.3	-10.3	-9.7
30	-4.7	-3.9	-4.5	-6.2
31	-8.1	-7.1	-6.9	-8.6
32	-3.3	-2.8	-8.8	-6.5
33	-0.7	-2.2	-5.7	-1.0
34	-3.8	-2.4	-1.3	-2.5
35	-0.6	-0.7	-4.8	-3.6
36	-4.3	-3.1	-9.8	-6.9
37				
38				
39				

平均	-3.8	-5.2	-2.9	-5.1
----	------	------	------	------

設問内容は別紙を参照してください。37～39は今年度実施していない設問になります。

評価項目	番号	設問	A + B		100点方式	
			%表示	前年との差	点数	前年との差
重点目標1	1	校外活動(修学旅行・校外学習等)が適切に計画・実施されている	100.0	0.0	94.8	-2.4
	2	生徒会活動が活発に行われている	100.0	0.0	92.2	-3.6
	3	部活動が活発に行われている	93.1	-14.3	77.6	-8.6
	4	人権教育が適切に計画・実施されている	100.0	0.0	93.1	-3.0
	5	いじめに対する基本方針に沿い、その取り組みが適切に実施されている	100.0	0.0	94.8	-2.4
	6	仏教教育・仏教行事が適切に計画・実施されている	96.6	3.4	87.9	5.3
重点目標2	7	教育課程は学習指導要領に沿い、かつ生徒や学校の実態等を踏まえたものになっている	100.0	0.0	91.4	-2.7
	8	効果的で円滑な学習活動を進めるために適切な時間割を編成している	96.6	0.4	88.8	-1.7
	9	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている	100.0	0.0	92.2	-4.4
	10	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫改善を行っている	100.0	0.0	86.2	-3.6
	11	公開授業や研究授業など指導の内容・方法の工夫改善に向けた取り組みが、学校全体で行われている	100.0	-3.0	94.0	-7.6
	12	教科内で、授業内容の改善・向上に向けた話し合いを積極的に行っている	96.6	-2.6	88.8	-6.2
	13	学習不十分な生徒について学校全体で支援する体制が整っている	100.0	-9.1	80.2	-5.2
	14	学習習慣の確立と家庭学習時間の確保に向けた取り組みを行っている	93.1	-14.3	81.9	-13.0
	15	クラス編成や講習など進路実現に向けた学力向上策が充実している	100.0	0.0	87.1	-3.0
重点目標3	16	生徒の進路決定に向けてアドバイスを適切に行うなど、生徒の適性や希望を生かすよう行われている	100.0	-6.1	91.4	-2.0
	17	進路説明会は、適切に計画・実施されている	100.0	0.0	93.1	1.6
	18	学力補充や学力伸展のための補習が適切に計画・実施されている	100.0	-3.0	90.5	-3.4
	19	実力考査・外部模試等を進路指導に適切に活用している	100.0	-3.0	89.7	-1.8
重点目標4	20	遅刻・欠席を少なくさせている	93.1	-14.3	84.5	-9.5
	21	挨拶を励行させている	93.1	-2.2	81.0	-3.0
	22	環境美化に対する意識の向上を図っている	96.6	-5.6	82.8	-6.2
	23	清掃活動の参加意欲の向上を図っている	100.0	-6.1	81.9	-3.9
	24	保健室を適切に活用させている	100.0	0.0	90.5	-4.2
	25	年間を通して生徒自らに健康観察や健康の保持増進できる能力を養わせている	100.0	-6.1	86.2	-8.2
重点目標5	26	校内外の指導等、問題行動を未然に防ぐ教育を適切に行っている	96.6	0.4	89.7	-3.3
	27	公共のルールマナーを順守させている	96.6	-2.6	82.8	-2.5
	28	服装、頭髪を規定どおり守らせている	89.7	-1.8	75.0	-1.5
	29	交通安全教育は適切に計画・実施されている	100.0	-3.0	90.5	-7.2
学校運営	30	職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している	100.0	0.0	88.8	-4.7
	31	教員間・教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている	93.1	0.8	85.3	-8.1
	32	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある	100.0	0.0	89.7	-3.3
	33	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている	100.0	0.0	87.1	-0.7
	34	研修・研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある	100.0	0.0	87.9	-3.8
	35	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている	100.0	0.0	86.2	-0.6
	36	防災に対する意識の高揚を図っている	96.6	0.4	85.3	-4.3
	37					
	38					
39						

表の見方	
数字	表示は
A+B	で90%未満
100点方式	で80点未満
A+B 前年の差	+5%以上
を表します。	
改善の余地がある項目 になります。	
数字	表示は
A+B 前年の差	-5%以下
100点 前年の差	-5点以下
を表します。	
前年度に比べ向上した 項目になります。	